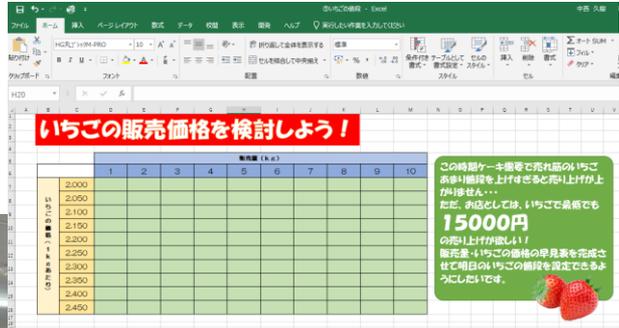


リーディングDXスクール事業【実践事例】

松阪市立三雲中学校（三重県）

【取組内容】クラウド環境を利用した「協働学習」と「主体的な学び」の実践



【協働学習の充実を目指して】

課題に対し、自由に話し合える環境でお互いに相談しながら解法を求めていく授業形態を実践している。またTeamsのチャット機能を利用し、自分で設定した「めあて」や、「解法のヒント」「分からないこと」を共有することで、「協働的な学び」に「ICT」を活用してきた。「授業まとめ」を共有することで「他者参照」しながら課題解決につなげることもできた。

【主体的に学ぶ課題づくり】

課題の難易度を徐々に高くしていくことで、既習の知識を使いながら「難しい課題を解いてみたい」「自分で調べて解きたい」という学習意欲の高まりがみられた。課題のテーマも「人口密度」「消費税の計算」「シュートコンテスト」など、身近なものを取り入れることで、実生活とのつながりを意識し、より主体的で意欲的に取り組もうとする姿がみられた。